

# 自然災害時 業務継続計画 (BCP)

株式会社WAY to DAY / 児童発達支援・放課後等デイサービス Athletic

統括責任者：吉岡 孝 作成日：令和7年3月

## 1. 基本方針



### ① 人命・安全の確保

利用者・職員の生命を守ることを最優先とする



### ② サービスの継続

重要業務を早期に再開し利用者の生活を支える



### ③ 実効性の確保

訓練と改善を繰り返し、計画を形骸化させない

## 2. 緊急連絡体制

統括責任者：吉岡 孝

(副統括：管理者および指名された職員)

協力医療機関：くみこキッズクリニック

## 災害対策本部 役割分担

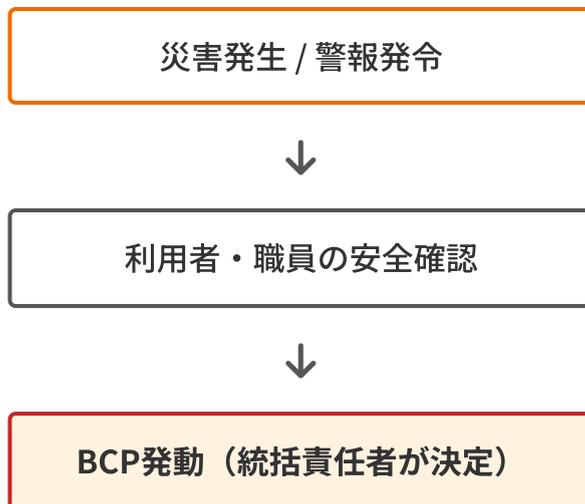
情報班	被災状況の把握、情報収集・伝達	消火班	初期消火活動、延焼防止
応急物資班	備蓄品の管理・配布、食料確保	安全指導班	利用者の避難誘導、安全確保
救護班	負傷者の応急処置、搬送手配	地域班	近隣住民・他事業所との連携

### ⚠️ 3. BCP発動基準

#### ☰ 発動条件

- 震度5弱以上の地震発生
- 北九州市に大雨・洪水警報の発令
- 施設周辺の公共交通機関の停止
- 施設駐車場への浸水、またはその恐れ
- 停電・断水等ライフラインの停止

#### 👤 判断フロー



### 🚶 4. 避難場所・避難方法

#### 第1避難場所

##### 前田第一公園

屋外への迅速な避難が必要な場合

#### 第2避難場所

##### 尾倉市民センター

屋内避難、長期滞在が必要な場合

📍 ここに避難経路図・地図を貼付または参照

## 5. 平常時の備え (チェックリスト)

### 建物の設備対策

- ✓ 出口・避難経路の荷物整理 (常時)
- ✓ ロッカー・棚の転倒防止・耐震措置
- ✓ 窓ガラスの飛散防止フィルム確認
- ✓ 排水溝の清掃・水害対策 (排水工事)
- ✓ ハザードマップの確認・掲示

### 備蓄品リスト

管理担当：平田久美子

- ✓ 飲料水：2Lペットボトル × 30本
- ✓ 生活用水：2Lペットボトル × 30本
- ✓ 不織布マスク：300枚
- ✓ 手指消毒液：5本
- ✓ 簡易トイレ (非常用)
- ✓ ポータブルバッテリー (PC・携帯用)
- ✓ 救急セット・常備薬

## 6. 緊急時の業務継続 (出勤率別)

優先業務：1. 放課後等デイサービス 2. 児童発達支援

職員出勤率	対応方針	備考
90% 以上	通常業務継続	安全に配慮しつつ通常営業
70% 程度	一部業務削減	事務作業等を後回し、現場優先
50% 程度	重要業務のみ継続	受入人数の制限、時間短縮
30% 以下	休止検討 / 緊急対応のみ	安全確保最優先、臨時休業検討

## 7. 復旧対応

- ✓ 建物・設備の破損箇所確認（写真撮影）
- ✓ ライフライン（電気・水道）の状況確認
- ✓ パソコン・重要データの無事確認

### 重要連絡先

- ・九州電力（停電時）
- ・株式会社 新光（設備関連）
- ・あいおいニッセイ同和損保（保険）

## 8. 訓練・見直し

### 毎月1日：防災日

備蓄品チェック、連絡網確認

### 3ヶ月に1回：消防設備点検

消火器、誘導灯の点検実施

### PDCAサイクル

訓練結果に基づき計画を随時更新